



財団の目標

ロン D. バートン
管理委員長エレクト
2018年1月17日

おはようございます。私が一番好きなロータリーの主題、「ロータリー財団」についてお話しでき
光栄です。

長年のロータリーの友人たち、以前の国際協議会で会った友人たちとの再会は、本当に嬉しい
ものです。しかし、ニューフェイスである 2018-19 年度リーダーの皆さん、すなわちロータリーの
未来となる皆さんにお会いできたことを、誠に喜ばしく思います。

活力がみなぎるこの国際協議会を、私は毎年楽しみにしています。皆さんもこの活力を感じ取
り、私と同じように胸を高鳴らせていることを願っています。国際協議会については、参加経験
のある先輩方から話を聞いていると思いますが、どんな話であれ、実際の経験とは比べもの
になりません。どんな言葉もこの経験を言い表すことはできないのです。ですから、この経験にど
っぷりと浸たり、一生懸命に学び、遊び、すべての瞬間を最後まで楽しんでください。国際協議
会は、国際ロータリーで最も魔法にあふれた会合です。世界の隅々からやって来たガバナーエ
レクトが、ロータリーについて学び、親睦を味わい、生涯つづく関係を培います。入りて学び、
出でて奉仕するのです！

2018-19 年度ロータリー財団管理委員長として、次年度の財団目標を立て、もっと財団を支援
して 2018-19 年度を財団史上最高の 1 年にさせていただけるよう皆さんを鼓舞激励することが、
私の責務です。しかし、私も皆さんからの助けを必要としています。

皆さんが財団を支援し、その成功に尽力してくださるという信念の下、私は、挑みがいあると同
時に達成可能な、包括的な募金目標を立てました。その達成には全員の努力が必要とされま
すが、達成すれば、全人類の生活の質を高めるという世界への約束を果たすことができるで
しょう。私たちは皆、そのために全力で取り組んでいると思います。

ロータリー財団 100 周年の多大な成功、および今年度の成功を土台として、年次基金の目
標は 1 億 3700 万ドルとなります。

ポリオの募金目標は 1 億 5000 万ドルで、これには、ロータリアン、クラブ、地区、ロータリー支援
者からの 5000 万ドルが含まれます。残りの 1 億ドルは、ゲイツ財団からの上乘せとなります。

現金寄付の過去の記録を基に、グローバル補助金への現金拠出とそのほかの現金寄付の目標額は、3150万ドルです。恒久基金の目標額は、即時寄付が2650万ドル、寄付誓約が3500万ドルです。これらの全目標を合わせた2018-19年度の合計募金目標額は、3億8000万ドルとなります。これを達成すれば、ロータリアンとロータリークラブが毎日取り組む、人生を変えるような無数の活動を資金面で支え続けることができます。

この包括的な募金目標と合わせ、ロータリー財団が今後3年間に前進し続けるために管理委員会が立案、採択した4つの優先項目をご紹介します。これらは、分かりやすく、私たちが就任する2018年7月1日後の課題と機会を示しています。

一つ目の優先項目は、当然のことながら、ポリオ撲滅です。ポリオの撲滅は、これまでも、そして今後も引き続き、ロータリー全体の最優先事項です。

去る10月、ロータリーで5回目となる毎年恒例の「世界ポリオデー」に合わせ、世界中のロータリークラブが3400以上のイベントを開催しました。また、シアトルにあるビル&メリンダ・ゲイツ財団の本部で開かれたイベントは、世界15万人がライブ動画配信で視聴しました。このイベントは、ポリオ撲滅の進捗報告にとどまらず、撲滅活動の影の立役者たち、そしてロータリアンの貢献にスポットライトを当てるものでした。約30年にわたり、ロータリアンは全国予防接種日に参加し、子どもの予防接種のため親たちを説得し、約束を果たすよう政府に働きかけ、認識を高め、時間、能力、資産を捧げるなど、数えきれない努力をしてきました。これらはすべて、予防可能なこの恐ろしい病気で苦しむ子どもが、世界に一人もいなくなるようにするためです。

ポリオ撲滅は、短距離走ではなくマラソンであることを、私たちはもちろん知っています。そして今、このマラソンのラストスパートに入っており、ゴールラインが視界に入っています。しかし、まだゴールに到達したわけではありません。最大のチャレンジは、まだこれからです。私たちは世界の子どもたちに約束をしましたが、この約束があるからこそ、ポリオ症例数は99.9%以上減少しました。これからも全力を注ぎ、約束を果たさなければなりません。

二つ目の優先項目は、6つの重点分野における奉仕活動の持続可能性を高めることです。グローバル補助金プログラムの成功は、ロータリークラブと地区による徹底的なニーズ調査にかかっています。ロータリーでは、補助金による支援の終了後もずっと、現地の人たちが支えていくことのできる長期的解決策を提供してはじめて、持続可能な奉仕プロジェクトであると見なされます。地域社会のニーズを知っていると自分たちが思うだけでは十分ではありません。現地の人たちと協力し、地域社会の真のニーズが何かを見極め、現地からの全面的な支援を確保し、自分たちのプロジェクトであるという自覚を現地の人たちに持ってもらうことが極めて重要です。

これに加え、可能な限り、地元の業者から設備や技術を購入すること。協力できる地元団体を見つけることで補助金の成果を高めること。そして何よりも、関与し続け、その後の成果を測っていくことで、プロジェクトが持続可能であり続け、当初のプロジェクトの目的がずっと続いていくようにすること。このようにして、ロータリーは末永いインパクトを残すことができるのです。

三つ目の優先項目は、毎年、DDFを全額を使用し、世界でもっと「よいこと」をするよう全地区に奨励することです。地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラスへの寄贈、プロジェクト向

上のための他地区への寄贈など、クラブ・地区・世界のために DDF を活用する方法は数多くあります。

地区の DDF を確認して使用可能な残高がどのくらいあるのかを調べ、次年度にこれらの資金を地区がどう活用するかを計画するのに、今は最適な時期です。ロータリアンは、貯金を増やすために財団に寄付をしたわけではありません。「世界でよいことをする」ために、寄付をしたのです。機会はいくらでもあります。ですから、今すぐこの資金を活動に生かすよう、ロータリアンの参加を促してください。

四つ目の優先項目は、私が大切にしていること、ロータリーの恒久基金がわずか 200 万ドルであることを知って以来約 30 年、私が力を入れてきたことです。以来、大きく成長しましたが、ロータリーのストーリーを伝えさえすればもっと成長する可能性があります。それは、非常にシンプルなことです。2025 年までに 20 億 2500 万ドルのロータリー財団を築くことであり、私たちは順調にその目標に進んでいます。今日の恒久基金は、11 億ドルを少し上回っており、そのうち手元にあるのが 4 億 2100 万ドル、誓約による見込額が 7 億 6700 万ドルです。20 億ドルの恒久基金があれば、どんなに多くの「よいこと」ができるかを想像してみてください。

この目標を達成するには、会員基盤を増やすだけでなく、ロータリアン以外の財団支援者を増やす必要、つまり寄付者ベースを広げる必要があります。真の慈善行為とは、寄付額で測られるのではなく、むしろその人の経済的事情に応じた寄付で測られます。ロータリー財団、すなわち自分たちの財団への寄付をロータリアンに奨励することが大切であり、唯一の寄付先ではなくとも、寄付先の一つとなるべきです。

チャリティーナビゲーターは、米国の慈善団体の格付け機関としては最大で、最も利用されており、9,000 以上の団体の格付けを行っています。格付けにあたっては、慈善団体の業績に関する 2 つの大まかな分野、「財務の健全性」と「説明責任と透明性」を調査します。これらの格付けにより、その団体が現在に寄付をどのように使っているか、長期的にプログラムと奉仕活動をどのくらい効果的に運営しているか、団体の統括機構、ベストプラクティス、情報開示に取り組む姿勢はどうか、などを寄付者が知ることができます。チャリティーナビゲーターは、これらの格付けを通じて、寄付者が賢明な決断を行い、非営利部門が業績を改善できるようにすることを目指しています。

2017 年にも再び、ロータリー財団は、財務の健全性および説明責任と透明性における堅実さが認められ、チャリティーナビゲーターから最高の格付けを得ました。最高である 4 つ星評価を受けるのは、連続 10 年目です。同団体のウェブページに掲載された「誰もが聞いたことのある慈善団体ベスト 10」のリストでは、ロータリー財団が、満点の 100 スコアで、他の 2 団体と同スコアで第一位となっています。

2025 年までに 20 億 2500 万ドルの財団を築くという取り組みは、財団への寄付と誓約を募る上で効果的なインセンティブとなります。この目標は、私たち一人ひとりにとって、寄付先として世界で最も信頼できる団体であるロータリー財団の恒久基金に「世界でよいことをする」ための冠名基金を設置し、後世を支援する機会を提示しています。

ジェタと私は、ロータリー財団を固く信じ、寄付をしてロータリーで冠名基金をつくりました。恒久基金に寄付をすれば、ロータリーのプログラムが後世にも永久に人びとを救っていくことができると知り、1990年代初めに冠名基金を設置したのです。今後もこの基金を膨らませていきたいと思えます。当時も今も、この決断は正しかったと考えています。ロータリーの恒久基金は、毎年、国際財団活動資金(WF)への収入を生み出します。

私たちは二人ともロータリー財団を信じ、ロータリーへの寄付が永遠であってほしい、言い換えれば、永遠にロータリアンでありたいと望んでいます。自分がその木陰に座ることのない木の苗を植える人のように、ロータリーが世界のニーズに今後もずっと応えていくための資金を残したいと考えています。この素晴らしく、しかも必要な責任を、私たちと一緒に分かち合っていただくよう、皆さん、そして世界中のロータリアンにお願いしたいと思えます。これから何世代にもわたるロータリーの約束を、皆さんも一緒に、後世への贈り物として果たすことができるのです。一言で言えば、これは「明日を支えるご支援」なのです。